

令和2年4月

平成28年度版 中学音楽・器楽「音楽のおくりもの」  
**新型コロナウイルス感染症対策における  
音楽科の活動内容制限に対応した学習指導例**

教育出版株式会社 音楽編集部

新型コロナウイルス感染症対策として、自治体や学校のご判断により、音楽の授業が行われる際に、以下の内容を避ける旨の指針が示される場合が考えられます。

- ★歌唱や合唱、発声を伴う音楽づくりの活動
- ★リコーダーなどの吹奏楽器の演奏活動

これを受け、弊社発行の平成28年度版中学校音楽科教科書 中学音楽・器楽「音楽のおくりもの」掲載の教材等について、活動内容制限への対応や、行為・行動の見直しを意識した学習指導例を作成いたしました。

ご授業のご参考になりましたら幸いと存じます。

\*感染症に関する情報は、4月8日現在のものに基づいています。

**1年** 声を出さないで旋律を歌い手拍子で表現してみよう

教材 p.4 青空へのぼろう p.10 アニー・ローリー

**感染防止を踏まえて****1. 声を出さないで歌う**

発音・発声をしなくて、担当する旋律を頭の中で歌います（イメージします）。こうした活動は、実際に声を出すより早く正確に旋律を記憶する際に有効、あるいはソルフェージュ能力を高めるなどといわれています。

**2. 手拍子で表現する**

声による表現を制限しているため、旋律を手拍子で表現します。音域が高くなるにしたがって強く叩いたり、強弱記号の設定にしたがって叩き方を変えたりして表現します。

**1. 関連する指導事項(例)****■ A 表現 (1) 歌唱**

ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。

イ 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。

**■ A 表現 (2) 器楽**

イ 楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。

**■ [共通事項]**

音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成

**2. 置き換える学習活動****(1) 青空へのぼろう**

主旋律を斉唱で表現する活動を、**声を出さないで歌うこと**へ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら、声を出さないで頭の中で主旋律を歌ったり、主旋律のリズムを**手拍子で表現**したりします。

**(2) アニー・ローリー**

歌1と歌2の旋律を、**声を出さないで歌うこと**へ置き換えます。範唱 CD でそれぞれのパートを繰り返し聴きながら声を出さないで頭の中で歌って表現したり、それぞれの旋律のリズムを**手拍子で表現**したりします。また、感染防止の観点からリコーダーの中部管と足部管だけを使い運指を確認します。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>1 「青空へのぼろう」の歌詞の内容を理解し、主旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 指導者が読み上げる歌詞を聴き取り、歌詞の繰り返しや旋律との関わりを確かめる。</p> <p>○ 範唱 CD で主旋律を繰り返し聴き取り、頭の中で歌って表現する。</p>
<p>2 歌詞の内容を捉えながら、主旋律のリズムを手拍子で表現する。</p>	<p>○ 強弱の設定に合わせて手拍子による表現を工夫する。</p>
<p>3 「アニー・ローリー」の歌詞の内容を確認し、三つのパートの旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 指導者が読み上げる歌詞を聴き取り、歌詞の繰り返しや旋律との関わりを確かめる。</p> <p>○ 範唱 CD で歌 1・2 の旋律を繰り返し聴き取り、頭の中で歌って表現する。同様に、R の旋律を聴き取り、リコーダーの中部管と足部管を使って運指を確認する。</p>
<p>4 三つのパートの旋律のリズムを手拍子で表現し、重なり方の特徴や面白さを感じ取る。</p>	<p>○ 三つのパートを入れ替えながら音域が高くなるにしたがって強く叩き、手拍子による表現を工夫する。</p> <p>○ 楽曲後半の三つのパートの重なり方を理解して、曲の山場（クライマックス）を考えながら表現を工夫する。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 青空へのぼろう

主旋律を歌って表現し、姿勢や息のコントロール、母音の発音、音域や強弱に応じた声の出し方を身に付け、楽曲全体の構成を生かして表現を工夫することを目指します。

#### (2) アニー・ローリー

歌 1 と歌 2 の旋律を歌って表現し、音域やオクターブ跳躍の際の声の出し方、母音の発音などの技能を身に付けます。また、R のパートを、ソプラノ・リコーダーまたはアルト・リコーダーで表現し、楽曲全体の構成や曲の山場（クライマックス）を考えながら、声とリコーダーのアンサンブルで表現を工夫することを目指します。

**1年** 拍や速度を感じ取りながら指揮で表現してみよう

教材 p.22 指揮をしてみよう（夏の思い出、赤とんぼ）

**感染防止を踏まえて****1. 指揮で表現する**

声による表現を制限しているため、拍や速度を感じ取りながら指揮で表現します。速度に関する記号や意味を理解し、四分の四拍子と四分の三拍子を指揮で表現します。

**2. 声を出さないで歌う**

発音・発声をしなくて、担当する旋律を頭の中で歌います（イメージします）。こうした活動は、実際に声を出すより早く正確に旋律を記憶する際に有効、あるいはソルフェージュ能力を高めるなどといわれています。

**1. 関連する指導事項(例)****■ A 表現 (1) 歌唱**

ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。

イ 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。

**■ [共通事項]**

リズム、速度、旋律、強弱、形式

**2. 置き換える学習活動****(1) 夏の思い出**

旋律を歌唱表現する活動を、**指揮で表現すること**へ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら声を出さないで頭の中で旋律を歌い、四拍子による拍節を確かめたり速度や強弱の設定と変化を生かしたりして**指揮で表現**します。

**(2) 赤とんぼ**

旋律を歌唱表現する活動を、**指揮で表現すること**へ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら声を出さないで頭の中で旋律を歌い、三拍子による拍節を確かめたり速度や強弱の設定と変化を生かしたりして**指揮で表現**します。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>1 「夏の思い出」の歌詞の内容を理解し、旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 指導者が読み上げる歌詞を聴き取り、歌詞の繰り返しや旋律との関わりを確かめる。</p> <p>○ 範唱 CD で旋律を繰り返し聴き取り、頭の中で歌ったり、p.22 指揮の例を参照しながら指揮をしたりする。</p>
<p>2 四拍子の拍節や速度の設定と変化を指揮で表現する。</p>	<p>○ 速度の設定を確かめ、ピアノ伴奏に向けて指揮をする。</p> <p>○ 15 小節めのフェルマータ（楽譜中に記号で表記）による速度の変化を指揮で表現する。</p>
<p>3 「赤とんぼ」の歌詞の内容を確認し、旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 指導者が読み上げる歌詞を聴き取り、歌詞の繰り返しや旋律との関わりを確かめる。</p> <p>○ 範唱 CD で旋律を繰り返し聴き取り、頭の中で歌ったり、p.22 指揮の例を参照しながら指揮をしたりする。</p>
<p>4 三拍子の拍節や速度の設定と変化を指揮で表現する。</p>	<p>○ 速度の設定を確かめ、ピアノ伴奏に向けて指揮をする。</p>
<p>5 「夏の思い出」と「赤とんぼ」の強弱を生かして表現を工夫する。</p>	<p>○ 「夏の思い出」と「赤とんぼ」の強弱の設定を確認し、指揮で表現する。</p> <p>○ 速度と強弱の設定や変化を理解し、これらに関連させながら指揮の表現を工夫する。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 夏の思い出

旋律を歌って表現し、二部形式による楽曲全体の構成を理解して表現を工夫することを目指します。

#### (2) 赤とんぼ

旋律を歌って表現し、一部形式による楽曲全体の構成を理解して表現を工夫することを目指します。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

**1年** 歌曲の面白さを味わおう教材 p. 36 魔王（シューベルト作曲） p. 37 魔王（ライヒャルト作曲） 先生のお勧め**感染防止を踏まえて****1. 発表・交流活動の方法を工夫する**

発表や対話を制限しているため、鑑賞の学習でまとめた気がついたことや聴き取ったこと、音楽に対する価値意識などを交流する方法や活動時間を変更します。ワークシートをグループ内で交換したり、指導者がいくつかのワークシートを読み上げたりするなどの工夫をします。

**2. 関連する鑑賞曲を追加する**

歌唱や器楽などの表現活動が制限されることで予定した配当時数を下回る場合、鑑賞の学習に充当します。そのため当初予定していた教材に加えて、題材の目標や内容と関連する教材を追加することが可能になります。

**1. 関連する指導事項(例)****■ B 鑑賞**

- ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。
- イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。

**■ [共通事項]**

音色，リズム，旋律，テクスチャ，強弱，構成

**2. 置き換える学習活動****(1) 発表・交流の方法や時間の配分**

学級全体で発表し合ったりグループで交流したりする活動を、生徒や学校（音楽室）の実態に応じて変更します。ワークシートをグループ内で交換したり、指導者がいくつかのワークシートを読み上げたりする他に、タブレット型端末や電子黒板を使った閲覧や、掲示コーナーを設置して間隔を十分取りながら閲覧する、なども考えられます。また、そのための活動時間を確保します。

**(2) 関連する鑑賞曲「先生のお勧め」の追加**

通作歌曲または有節歌曲の楽曲全体の構成が聴き取りやすい作品を選択します。シューベルトの作品では、例えば「野ばら」や「糸をつむぐグレートヒェン」、歌曲集「美しき水車小屋の娘」などからの選択が考えられます。その際、歌詞の内容にも留意して選択します。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>1 物語の内容を理解し、各登場人物の特徴を聴き取る。</p>	<p>○ 各登場人物の行動や気持ちなどを理解し、それぞれの表現を聴取して気が付いた雰囲気や特徴などをまとめる。</p>
<p>2 物語の進行と曲想との関係を感じ取る。</p>	<p>○ 登場人物ごとの特徴を聴き取り、曲想の変化を感じ取って鑑賞する。また、ライヒャルトの作品と比較鑑賞し、共通点や相違点などをまとめる。</p> <p>○ まとめた内容を掲示板の指定箇所に貼り、他者のワークシートを閲覧する。</p> <p>○ 閲覧した内容を参考に再度比較鑑賞し、共通点や相違点などを整理する。</p>
<p>3 通作歌曲と有節歌曲の構成の違いを理解して鑑賞する。</p>	<p>○ シューベルトとライヒャルトの作品の共通点や相違点から、音楽の特徴や曲想の違いなどをまとめ、それぞれのよさや美しさなどについて考える。</p>
<p>4 「先生のお勧め」を鑑賞し、歌詞の内容や楽曲の構成などを理解しながら鑑賞する。</p>	<p>○ 歌詞の内容を理解したり譜例を参照したりして、通作歌曲または有節歌曲のどちらの構成になるか考えながら鑑賞する。</p> <p>○ 再度、シューベルトとライヒャルトの作品とも比較鑑賞し、三つの作品についてよさや面白さなどについて考えまとめる。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 発表・交流の活動再開

鑑賞を通して気がついたことや聴き取ったこと、音楽に対する自己の価値意識などを発表し交流する活動を再開します。

#### (2) 歌唱や器楽などの表現活動へ

歌唱や器楽などの表現活動を制限したことによって、鑑賞の学習に予定以上の時数を配当することが考えられます。そのため通常授業が再開された際は、制限によって不足していた表現活動に割り当てます。そのためには、鑑賞指導事項や〔共通事項〕の取り扱いを十分検討し、鑑賞の学習の年間計画を確認しておく必要があります。

**器楽** 太鼓のリズムを表現してみよう

教 材 p.59 基本のリズムを打ってみよう

**感染防止を踏まえて****1. 身近なものを叩いて表現する**

共用する器具（楽器や道具など）を制限しているため、学校（音楽室）の実態に応じてさまざまなものを叩いて表現します。叩くとどんな音がするのか、さらに叩き方を工夫したり合わせて叩いたときの響きを生かしたりして、楽しみながら表現を工夫します。

**2. 声を出さないで唱歌をうたう**

発音・発声をしなくて、太鼓の唱歌を頭の中で歌います（イメージします）。そして、唱歌を手がかりに太鼓のリズムを表現します。

**1. 関連する指導事項(例)****■ A 表現 (2) 器楽**

イ 楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。

ウ 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。

**■ [共通事項]**

音色，リズム，速度，テクスチャ，強弱，構成

**2. 置き換える学習活動****(1) 共有する太鼓やばちなどを身近なものに置き換える**

本来共用して使用する太鼓やばちの代わりに、叩いて音が出るものを各自が身近にあるものなかから試しながら選んだり、叩き方や叩く道具を工夫したりする活動に置き換えます。

**(2) 声を出さないで唱歌を表現する**

太鼓の唱歌を表現する活動を、声を出さないでうたうことへ置き換えます。指導者が叩くリズムを繰り返し聴きながら、声を出さないで頭の中で唱歌をうたったり、リズムを膝打ちしたりします。



### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>① 1～4のリズムを聴き取り，声を出さないうで唱歌をうたう。</p>	<p>○ ♩=80 ぐらいの速さで指導者が叩く1～4のリズムを聴き取りながら，声を出さないうで唱歌をうたう。</p> <p>○ ♩=100 ぐらいの速さで指導者が叩くリズムに合わせて，声を出さないうで唱歌をうたう。</p>
<p>② 1～4のリズムを膝打ちで表現する。</p>	<p>○ 声を出さないうで唱歌をうたいながら，指導者が叩くリズムに合わせて1～4のリズムを膝打ちする。</p> <p>○ 指導者が叩く4のリズムにあわせて，1～3のリズムを膝打ちする。</p>
<p>③ 叩いて音が出るものを選び，1～4のリズムを表現する。</p>	<p>○ グループになって，各自が選んだもので4のリズムを表現し聴き合う。</p> <p>○ 1～4のリズムを表現する順番を決めて合わせて表現し，気がついたことや面白いと思った表現をワークシートに記録する。</p> <p style="padding-left: 40px;">＜順番の例＞A：4→1→2→3→4</p> <p style="padding-left: 40px;">B：4→2→3→1→4</p> <p style="padding-left: 40px;">C：4→3→1→2→4</p> <p style="padding-left: 40px;">D：4→4→4→4→4</p>
<p>④ 四つのリズムの反復や重ね方を工夫する。</p>	<p>○ 順番を決めて表現したことを生かし，四つのリズムの反復や重ね方を工夫しながら表現する。</p> <p>○ グループごとに工夫したことを説明して表現を発表し合い，気がついたことをワークシートにまとめる。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 和楽器を取り扱う題材として

ばちの握り方，かまえ方や打ち方などの基礎的な技能を身に付けながら，太鼓で「基本のリズムを打ってみよう」を表現します。また，表現した1～4のリズムの反復の仕方や重ね方を工夫する活動を太鼓で表現し，簡単なアンサンブル活動を行います。

**2・3上** 声を出さないで旋律を歌い手拍子で表現してみよう

教材 p.4 生命が羽ばたくとき p.6 語りあおう

**感染防止を踏まえて****1. 声を出さないで歌う**

発音・発声をしないで、担当する旋律を頭の中で歌います（イメージします）。こうした活動は、実際に声を出すより早く正確に旋律を記憶する際に有効、あるいはソルフェージュ能力を高めるなどといわれています。

**2. 手拍子で表現する**

声による表現を制限しているため、旋律を手拍子で表現します。音域が高くなるにしたがって強く叩いたり、強弱記号の設定にしたがって叩き方を変えたりして表現します。

**1. 関連する指導事項(例)****■ A 表現 (1) 歌唱**

ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。

ウ 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

**■ [共通事項]**

音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱

**2. 置き換える学習活動****(1) 生命が羽ばたくとき**

三つのパートの旋律を歌唱表現する活動を、**声を出さないで歌う**ことへ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら、声を出さないで頭の中で担当するパートの旋律を頭の中で歌ったり、主旋律のリズムを**手拍子で表現**したりします。

**(2) 語りあおう**

三つのパートの旋律を歌唱表現する活動を、**声を出さないで歌う**ことへ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら、声を出さないで頭の中で担当するパートの旋律を頭の中で歌ったり、主旋律のリズムを**手拍子で表現**したりします。9小節から16小節のパートの重なり方を理解し、主旋律となるパートを確認しながら**手拍子で表現**します。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>1 「生命が羽ばたくとき」の歌詞の内容を理解し、三つのパートの旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 歌詞を小さな声で読み合わせ、歌詞や旋律のまとまりや繰り返しを確かめる。 ○ 範唱CDで三つのパートの旋律を繰り返し聴き取り、頭の中で歌って表現する。</p>
<p>2 歌詞の内容を捉えながら、担当するパートの旋律のリズムを手拍子で表現する。</p>	<p>○ 強弱の設定に合わせて手拍子による表現を工夫する。</p>
<p>3 「語りあおう」の歌詞の内容を確認し、三つのパートの旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 歌詞を小さな声で読み合わせ、歌詞や旋律のまとまりや繰り返しを確かめる。 ○ 範唱CDで三つのパートの旋律を繰り返し聴き取り、頭の中で歌って表現する。</p>
<p>4 担当するパートの旋律のリズムを手拍子で表現し、重なり方の特徴や面白さを感じ取る。</p>	<p>○ 強弱の設定に合わせて、担当するパートの手拍子による表現を工夫する。 ○ 9小節め以降のテクスチャを捉え、三つのパートの重なり方を理解して手拍子で表現する。</p>
<p>5 「生命が羽ばたくとき」と「語りあおう」の曲の山場（クライマックス）について考え、表現を工夫する。</p>	<p>○ それぞれの楽曲について全体で主旋律を確かめながら、手拍子で表現する。 ○ 強弱の設定や音域、歌詞との関係などから曲の山場（クライマックス）を考え、手拍子による表現を工夫する。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 生命が羽ばたくとき

担当するパートの旋律を歌って表現し、歌唱の基礎的な技能を身に付けながら楽曲の山場(クライマックス)や全体の構成を生かして表現を工夫することを目指します。

#### (2) 語りあおう

担当するパートの旋律を歌って表現し、歌唱の基礎的な技能を身に付けながら楽曲の山場(クライマックス)や全体の構成を生かして表現を工夫することを目指します。

**2・3上** 拍や速度を感じ取りながら指揮で表現してみよう

教 材 p.20 指揮をしてみよう（浜辺の歌，花の街，早春賦）

**感染防止を踏まえて****1. 指揮で表現する**

声による表現を制限しているため、拍や速度を感じ取りながら指揮で表現します。速度に関する記号や意味を理解し、八分の六拍子と四分の二拍子を指揮で表現します。

**2. 声を出さないで歌う**

発音・発声をしなくて、担当する旋律を頭の中で歌います（イメージします）。こうした活動は、実際に声を出すより早く正確に旋律を記憶する際に有効、あるいはソルフェージュ能力を高めるなどといわれています。

**1. 関連する指導事項(例)****■ A 表現 (1) 歌唱**

ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。

イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。

**■ [共通事項]**

リズム，速度，旋律，強弱，形式，構成

**2. 置き換える学習活動****(1) 浜辺の歌**

旋律を歌唱表現する活動を、**指揮で表現すること**へ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら声を出さないで頭の中で旋律を歌い、複合拍子による拍節を感じ取って**指揮で表現**します。

**(2) 花の街**

旋律を歌唱表現する活動を、**指揮で表現すること**へ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら声を出さないで頭の中で旋律を歌い、単純拍子による拍節や旋律冒頭の八分休符を意識して**指揮で表現**します。

**(3) 早春賦**

旋律を歌唱表現する活動を、**指揮で表現すること**へ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら声を出さないで頭の中で旋律を歌い、複合拍子による拍節を感じ取って**指揮で表現**します。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・ 留意点
<p>1 「浜辺の歌」の歌詞の内容を理解し、旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 指導者が読み上げる歌詞や範唱CDで旋律を聴き取り、頭の中で歌う。</p>
<p>2 複合拍子の2種類の指揮の仕方を理解し、違いを感じ取って表現する。</p>	<p>○ 速度の設定を確かめ、p. 20 指揮の例を参照しながらピアノ伴奏に合わせて2種類の指揮をする。</p> <p>○ 楽曲終末の rit. による速度の変化を感じ取り指揮を工夫する。</p>
<p>3 「花の街」の歌詞の内容を確認し、旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 指導者が読み上げる歌詞や範唱CDで旋律を聴き取り、頭の中で歌う。</p>
<p>4 単純拍子(二拍子)の指揮の仕方を理解し表現する。</p>	<p>○ 速度の設定を確かめ、p. 20 指揮の例を参照し、ピアノ伴奏に合わせて指揮をする。</p>
<p>5 「早春賦」の拍子と指揮の仕方を理解して表現を工夫する。</p>	<p>○ 「浜辺の歌」や「花の街」と比べ、歌詞や旋律のまとまりや繰り返しを確かめ、範唱CDで旋律を繰り返し聴き取り、指揮の仕方を考える。</p> <p>○ 速度の設定を確かめ、p. 20 指揮の例を参照し、ピアノ伴奏に合わせて指揮をする。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

(1) 浜辺の歌

旋律を歌って表現し、二部形式による楽曲全体の構成を理解して表現を工夫することを目指します。

(2) 花の街

旋律を歌って表現し、歌詞のまとまりと旋律のまとまりが一致した楽曲全体の構成を理解し、表現を工夫することを目指します。

(3) 早春賦

旋律を歌って表現し、二部形式による楽曲全体の構成を理解して表現を工夫することを目指します。

**2・3上** 多声音楽の面白さを味わおう教材 p.26 小フーガ ト短調 p.29 2声のインヴェンション 第1番 先生のお勧め**感染防止を踏まえて****1. 発表・交流活動の方法を工夫する**

発表や対話を制限しているため、鑑賞の学習でまとめた気がついたことや聴き取ったこと、音楽に対する価値意識などを交流する方法や活動時間を変更します。ワークシートをグループ内で交換したり、指導者がいくつかのワークシートを読み上げたりするなどの工夫をします。

**2. 関連する鑑賞曲を追加する**

歌唱や器楽などの表現活動が制限されることで予定した配当時数を下回る場合、鑑賞の学習に充当します。そのため当初予定していた教材に加えて、題材の目標や内容と関連する教材を追加することが可能になります。

**1. 関連する指導事項(例)****■ B 鑑賞**

- ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。
- イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。

**■ [共通事項]**

音色，旋律，テクスチャ，構成

**2. 置き換える学習活動****(1) 発表・交流の方法や時間の配分**

学級全体で発表し合ったりグループで交流したりする活動を、生徒や学校(音楽室)の実態に応じて変更します。ワークシートをグループ内で交換したり、指導者がいくつかのワークシートを読み上げたりする他に、タブレット型端末や電子黒板を使った閲覧や、掲示コーナーを設置して間隔を十分取りながら閲覧する、なども考えられます。また、そのための活動時間を確保します。

**(2) 関連する鑑賞曲「先生のお勧め」の追加**

パイプオルガンによる多声音楽の特徴が聴き取りやすい作品を選択します。バッハの作品では、例えば「コラール<甘き喜びのうちに>BWV608」「トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV564」「トッカータとフーガ ニ短調 BWV565」などの選択が考えられます。その際、演奏時間に留意して比較的短いコラールを数曲鑑賞することも考えられます。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>1] パイプオルガンの音色や響きを聴き取る。</p>	<p>○ 「小フーガ ト短調」を視聴し、パイプオルガンの音色を聴き取る。また、パイプオルガンの機能や仕組みを紹介する VTR を視聴したり、インターネットを活用してそれらについて調べたりする。</p>
<p>2] 音楽の構成を理解して鑑賞する。</p>	<p>○ 主題と応答の現れ方などを聴き取り、「小フーガ ト短調」の構成やフーガの歴史的背景について理解する。</p> <p>○ 「2声のインヴェンション 第1番」の構成の仕方やピアノによる表現を比較鑑賞する。</p>
<p>3] パイプオルガンの響きや多声音楽の表現を味わいながら鑑賞する。</p>	<p>○ 「小フーガ ト短調」または「2声のインヴェンション 第1番」の魅力を伝える紹介文を書き、その内容を掲示板の指定箇所に貼り、他者のワークシートを閲覧する。</p> <p>○ 閲覧した内容を参考に再度比較鑑賞し、自分の考えを整理する。</p>
<p>4] 「先生のお勧め」を鑑賞し、多声音楽による楽曲の構成を理解しながら鑑賞する。</p>	<p>○ パイプオルガンの響きや多声音楽の表現について、「小フーガ ト短調」や「2声のインヴェンション 第1番」とも比較して鑑賞し、それぞれの作品についてよさや面白さなどについて考え、まとめる。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 発表・交流の活動再開

鑑賞を通して気がついたことや聴き取ったこと、音楽に対する自己の価値意識などを発表し交流する活動を再開します。

#### (2) 歌唱や器楽などの表現活動へ

歌唱や器楽などの表現活動を制限したことによって、鑑賞の学習に予定以上の時数を配当することが考えられます。そのため通常授業が再開された際は、制限によって不足していた表現活動に割り当てます。そのためには、鑑賞指導事項や〔共通事項〕の取り扱いを十分検討し、鑑賞の学習の年間計画を確認しておく必要があります。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

**器楽** 太鼓のリズムを表現してみよう

教材 p.47 長唄「勸進帳」から 寄せの合方

**感染防止を踏まえて****1. 身近なものを叩いて表現する**

共用する器具（楽器や道具など）を制限しているため、学校（音楽室）の実態に応じてさまざまなものを叩いて表現します。叩くとどんな音がするのか、さらに叩き方を工夫したり合わせて叩いたときの響きを生かしたりして、楽しみながら表現を工夫します。

**2. 声を出さないで唱歌をうたう**

発音・発声をしなくて、太鼓の唱歌を頭の中でうたいます（イメージします）。そして、唱歌を手がかりに太鼓のリズムを表現します。

**1. 関連する指導事項(例)****■ A 表現 (2) 器楽**

イ 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。

ウ 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。

**■ [共通事項]**

音色，リズム，速度，テクスチャ，強弱，構成

**2. 置き換える学習活動****(1) 共有する楽器を膝打ちや手拍子に置き換える**

本来共用して使用する大鼓（おおつづみ）小鼓（こつづみ）の代わりに、大鼓は左膝に左手を添え右手で打ち、小鼓は左手を右肩に挙げそれを右手で叩く、または左肘を右手で叩くことに置き換えます。

**(2) 声を出さないで唱歌を表現する**

太鼓の唱歌を表現する活動を、声を出さないでうたうことへ置き換えます。指導者が叩くリズムを繰り返し聴きながら、声を出さないで頭の中で唱歌をうたったり、リズムを膝打ちしたりします。



### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>1 打楽器 1 と 2 のリズムの唱歌を声に出さないで表現する。</p>	<p>○ ♪=80 ぐらいの速さで指導者が叩く 1 と 2 を合わせたリズムを聴き取り，声を出さないで 1 と 2 を合わせて唱歌をうたう。          &lt;例&gt;「チョチョ，タタ，ツタ，ポン」「スタ，スタスポ，ポンポン」「チョン，トトスタ，スタスタ，ツタ，ポン」～</p> <p>○ ♪=100 ぐらいの速さで指導者が表現する三味線の旋律に合わせ，1 と 2 に分けて声を出さないで唱歌をうたいながら手拍子する。</p>
<p>2 1 の大鼓を膝打ち，2 の小鼓を手拍子に代えて表現する。</p>	<p>○ 1 の大鼓は左膝上を手で打ち，2 の小鼓は高い音は左手を右肩に挙げそれを右手で叩き，低い音は左肘を右手で叩き，♪=80 ぐらいの速さで指導者が表現する三味線の旋律に合わせて表現する。</p> <p>○ グループに分け，三味線の旋律はキーボードを使うなど工夫し，1 大鼓 2 小鼓によるアンサンブルで表現する。</p>
<p>3 「長唄『勸進帳』から寄せの合方」を視聴し，表現を工夫する。</p>	<p>○ 「長唄『勸進帳』から寄せの合方」の場面を視聴し，大鼓や小鼓の表現や速度の変化などを聴き取る。</p> <p>○ 視聴したことで気がついたことを発表し合い，再度グループで表現を工夫する。</p> <p>○ グループごとに工夫したことを説明して表現を発表し合い，気がついたことをワークシートにまとめる。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 和楽器を取り扱う題材として

三味線を取り扱う題材として，基礎的な技能を身に付けながら「長唄『勸進帳』から寄せの合方」を表現します。または，三味線を取り扱わずに大鼓と小鼓で表現し，簡単なアンサンブル活動を行います。

**2・3下** 声を出さないで旋律を歌い手拍子で表現してみよう

教材 p.4 花 p.22 旅立ちの日に

**感染防止を踏まえて****1. 声を出さないで歌う**

発音・発声をしないで、担当する旋律を頭の中で歌います（イメージします）。こうした活動は、実際に声を出すより早く正確に旋律を記憶する際に有効、あるいはソルフェージュ能力を高めるなどといわれています。

**2. 手拍子で表現する**

声による表現を制限しているため、旋律を手拍子で表現します。音域が高くなるにしたがって強く叩いたり、強弱記号の設定にしたがって叩き方を変えたりして表現します。

**1. 関連する指導事項(例)****■ A 表現 (1) 歌唱**

ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。

ウ 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

**■ [共通事項]**

音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成

**2. 置き換える学習活動****(1) 花**

二つのパートの旋律を歌唱表現する活動を、**声を出さないで歌う**ことへ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら、声を出さないで頭の中で担当するパートの旋律を頭の中で歌ったり、主旋律のリズムを**手拍子で表現**したりします。その際、担当するパートの旋律のリズムをそのまま表現することと、歌詞を発音する時に手を打つこととの違いを取り扱います。(例：冒頭「はるのうららの」の場合、「らら」は十六分音符によるリズムですが、歌詞は八分音符相当の長さで発音することになります)

**(2) 旅立ちの日に**

三つのパートの旋律を歌唱表現する活動を、**声を出さないで歌う**ことへ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら、声を出さないで頭の中で担当するパートの旋律を歌ったり、主旋律のリズムを**手拍子で表現**したりします。後半 *Più mosso* からの速度の変化を生かして手拍子による表現を工夫します。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>1 「花」の歌詞の内容を理解し、二つのパートの旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 歌詞を小さな声で読み合わせ、歌詞や旋律のまとまりや繰り返しを確かめる。</p> <p>○ 範唱CDで二つのパートの旋律を繰り返し聴き取り、頭の中で歌って表現する。</p>
<p>2 歌詞の内容や七五調による言葉のまとまりを捉えながら、担当するパートの旋律のリズムを手拍子で表現する。</p>	<p>○ 強弱の設定に合わせて手拍子による表現を工夫する。</p>
<p>3 「旅立ちの日に」の歌詞の内容を確認し、三つのパートの旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 歌詞を小さな声で読み合わせ、歌詞や旋律のまとまりや繰り返しを確かめる。</p> <p>○ 範唱CDで三つのパートの旋律を繰り返し聴き取り、頭の中で歌って表現する。</p>
<p>4 担当するパートの旋律のリズムを手拍子で表現し、後半 <i>Più mosso</i> からの重なり方の特徴や面白さを感じ取る。</p>	<p>○ 強弱の設定に合わせて担当するパートの手拍子による表現を工夫する。</p> <p>○ 後半 <i>Più mosso</i> 以降のテクスチュアを捉え、パートの重なり方を理解して手拍子で表現する。</p>
<p>5 「花」と「旅立ちの日に」の速度の変化の効果を考え、表現を工夫する。</p>	<p>○ それぞれの楽曲について全体で主旋律を確かめながら、手拍子で表現する。</p> <p>○ 速度の設定を確認し、速度が変化することによる効果や曲想を感じ取り、手拍子による表現を工夫する。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 花

担当するパートの旋律を歌って表現し、歌詞のまとまりと楽曲の山場（クライマックス）や全体の構成を関わらせて表現を工夫することを目指します。

#### (2) 旅立ちの日に

担当するパートの旋律を歌って表現し、歌唱の基礎的な技能を身に付けながら楽曲の山場（クライマックス）や全体の構成を生かして表現を工夫することを目指します。

**2・3下 拍や速度を感じ取りながら指揮で表現してみよう**

教材 p.16 指揮をしてみよう（花，荒城の月：原曲，山田耕筰 補作編曲）

**感染防止を踏まえて****1. 指揮で表現する**

声による表現を制限しているため、拍や速度を感じ取りながら指揮で表現します。速度に関する記号や意味を理解し、単純拍子（二拍子と四拍子）を指揮で表現します。

**2. 声を出さないで歌う**

発音・発声をしなくて、担当する旋律を頭の中で歌います（イメージします）。こうした活動は、実際に声を出すより早く正確に旋律を記憶する際に有効、あるいはソルフェージュ能力を高めるなどといわれています。

**1. 関連する指導事項(例)****■ A 表現 (1) 歌唱**

ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。

イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。

**■ [共通事項]**

音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式

**2. 置き換える学習活動****(1) 花**

旋律を歌唱表現する活動を、**指揮で表現すること**へ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら声を出さないで頭の中で旋律を歌い、二拍子による拍節を確かめたり速度や強弱の設定と変化を生かしたりして**指揮で表現**します。

**(2) 荒城の月：原曲**

旋律を歌唱表現する活動を、**指揮で表現すること**へ置き換えます。範唱 CD を繰り返し聴きながら声を出さないで頭の中で旋律を歌い、四拍子による拍節を確かめたり速度や強弱の設定と変化を生かしたりして**指揮で表現**します。

**(3) 荒城の月：山田耕筰 補作編曲**

原曲と山田耕筰 補作編曲を比べ、同じ四拍子であるが拍節の感じ方の違いを理解して、**指揮で表現**します。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・ 留意点
<p>1 「花」の歌詞の内容を理解し、旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 指導者が読み上げる歌詞や範唱 CD で旋律を聴き取り、頭の中で歌う。</p>
<p>2 二拍子の指揮の仕方を理解し、拍節を感じ取りながら指揮で表現する。</p>	<p>○ 速度の設定を確かめ、p. 16 キャラクターのアドバイスを参照しながらピアノ伴奏に合わせて指揮をする。</p>
<p>3 「荒城の月」原曲の歌詞の内容を確認し、旋律を聴き取る。</p>	<p>○ 楽曲終末のフェルマータ、rit., a tempo (それぞれ楽譜中に記号で表記) による速度の変化を感じ取り指揮を工夫する。</p>
<p>4 四拍子の指揮の仕方を理解し、拍節を感じ取りながら指揮で表現する。</p>	<p>○ 指導者が読み上げる歌詞や範唱 CD で旋律を聴き取り、頭の中で歌う。</p>
<p>5 「荒城の月」原曲と山田耕筰 補作編曲とを比べ、共通点と相違点を理解しながら指揮で表現する。</p>	<p>○ 速度の設定を確かめ、p. 17 を参照しながらピアノ伴奏に合わせて指揮をする。</p>
<p>5 「荒城の月」原曲と山田耕筰 補作編曲とを比べ、共通点と相違点を理解しながら指揮で表現する。</p>	<p>○ p. 14 原曲, p. 75 山田耕筰 補作編曲の楽譜を参照し、共通点と相違点について考える。</p>
<p>5 「荒城の月」原曲と山田耕筰 補作編曲とを比べ、共通点と相違点を理解しながら指揮で表現する。</p>	<p>○ それぞれの速度の設定を確かめ、四拍子の指揮でピアノ伴奏に合わせて指揮をする。</p>
<p>5 「荒城の月」原曲と山田耕筰 補作編曲とを比べ、共通点と相違点を理解しながら指揮で表現する。</p>	<p>○ 指揮をして気がついた共通点と相違点をまとめ、旋律のまとまりの違いを生かして指揮の表現を工夫する。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 花

旋律を歌って表現し、二部形式や三回繰り返すことによる楽曲全体の構成を理解し、表現を工夫することを目指します。

#### (2) 荒城の月：原曲，山田耕筰 補作編曲

旋律を歌って表現し、二部形式による楽曲全体の構成を理解したり、原曲と山田耕筰 補作編曲とを比べて共通点や相違点を理解したりして、表現を工夫することを目指します。

**2・3下 音楽の構造と曲想との関わりを理解して鑑賞しよう**教材 p.24 ボレロ p.27 組曲「惑星」から第1曲「火星」 先生のお勧め**感染防止を踏まえ****1. 発表・交流活動の方法を工夫する**

発表や対話を制限しているため、鑑賞の学習でまとめた気がついたことや聴き取ったこと、音楽に対する価値意識などを交流する方法や活動時間を変更します。ワークシートをグループ内で交換したり、指導者がいくつかのワークシートを読み上げたりするなどの工夫をします。

**2. 関連する鑑賞曲を追加する**

歌唱や器楽などの表現活動が制限されることで予定した配当時数を下回る場合、鑑賞の学習に充当します。そのため当初予定していた教材に加えて、題材の目標や内容と関連する教材を追加することが可能になります。

**1. 関連する指導事項(例)****■ B 鑑賞**

- ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。
- イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。

**■ [共通事項]**

音色，リズム，旋律，テクスチャ，強弱，構成

**2. 置き換える学習活動****(1) 発表・交流の方法や時間の配分**

学級全体で発表し合ったりグループで交流したりする活動を、生徒や学校(音楽室)の実態に応じて変更します。ワークシートをグループ内で交換したり、指導者がいくつかのワークシートを読み上げたりする他に、タブレット型端末や電子黒板を使った閲覧や、掲示コーナーを設置して間隔を十分取りながら閲覧する、なども考えられます。また、そのための活動時間を確保します。

**(2) 関連する鑑賞曲「先生のお勧め」の追加**

リズムや旋律の反復・変化、楽曲全体の構造を聴き取りやすいオーケストラで表現する作品を選択します。例えば「ローマの松から『アッピア街道の松』(レスピーギ作曲)」「バレエ『春の祭典』から序奏～春のきざし(ストラヴィンスキー作曲)」「バレエ『グイーヌ』からレズギンカ(ハチャトゥリアン作曲)」などの選択が考えられます。その際、リズムの反復がよく聴き取れる教材を選択する必要があります。

### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・ 留意点
<p>1 リズムや主題の繰り返しを聴取する。</p> <p>2 音楽の構造と曲想との関わりを理解して楽曲全体を聴き取る。</p> <p>3 音楽の構成を理解し、オーケストラの豊かな表現を味わって鑑賞する。</p> <p>4 「先生のお勧め」を鑑賞し、音楽の構造と曲想との関わりを理解しながら鑑賞する。</p>	<p>○ 「ボレロ」がオーケストラによって表現されていることを確認し、AとBの主題やリズムの反復によって全体が構成されていることを理解し聴き取る。</p> <p>○ 「ボレロ」を鑑賞して印象に残ったことや感じ取った曲想などをワークシートにまとめる。</p> <p>○ 「組曲『惑星』から第1曲『火星』」を鑑賞し、リズムや主題の現れ方を比較する。</p> <p>○ 「ボレロ」と「組曲『惑星』から第1曲『火星』」を比較鑑賞し、聴き取った音楽の特徴や感じ取った曲想をワークシートにまとめる。</p> <p>○ワークシートを掲示板の指定箇所に貼り、他者のワークシートを閲覧してから再度比較鑑賞し、自分の考えを整理する。</p> <p>○ リズムや旋律の反復・変化、楽曲全体の構造について、「ボレロ」や「組曲『惑星』から第1曲『火星』」とも比較鑑賞し、それぞれの作品についてよさや面白さなどについて考え、まとめる。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

#### (1) 発表・交流の活動再開

鑑賞を通して気がついたことや聴き取ったこと、音楽に対する自己の価値意識などを発表し交流する活動を再開します。

#### (2) 歌唱や器楽などの表現活動へ

歌唱や器楽などの表現活動を制限したことによって、鑑賞の学習に予定以上の時数を配当することが考えられます。そのため通常授業が再開された際は、制限によって不足していた表現活動に割り当てます。そのためには、鑑賞指導事項や〔共通事項〕の取り扱いを十分検討し、鑑賞の学習の年間計画を確認しておく必要があります。

## 器楽 手拍子，膝打ち，足踏みでアンサンブルを楽しもう

教材 p.92 ジョイフル コンビネーション1

### 感染防止を踏まえて

#### 1. 手拍子，膝打ち，足踏みで表現する

歌う，演奏するなどの表現活動を伴う学習が制限されるため，器楽分野の学習として，手拍子，膝打ち，足踏みで表現するアンサンブル活動を行います。楽器を使用しての表現ではありませんが，自分の身体を使って強弱の設定や各パートの関わり方を生かし表現を工夫します。

### 1. 関連する指導事項(例)

#### ■ A 表現 (2) 器楽

ア 曲想を味わい，曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。

ウ 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して，表現を工夫しながら合わせて演奏すること。

#### ■ [共通事項]

リズム，速度，テクスチャ，強弱

### 2. 置き換える学習活動

リコーダーを使用することや共有する箏（こと）などの学校備品の楽器が使えない状況によって，器楽分野の学習を設定できないことの対応となります。

教材の「ジョイフル コンビネーション1」は，ボディー・パーカッションなどとも呼ばれる音楽表現の一つとして着目されているものです。指定されている手拍子，膝打ち，足踏み，の叩き方の他に，叩く場所を変えたりフィンガースナップなどの別な音の出し方を取り入れたりして，表現を工夫することも考えられます。

<リズムを言葉に当てはめる例>



タン タン タン タン



タ ド タ ド タ ド タ



タカタカ タカタカ タカタカ タカタカ



### 3. 学習展開例

□学習内容	○学習活動 ・留意点
<p>① 「ジョイフル コンビネーション 1」の1のパートリズムを表現する。</p>	<p>○ 指導者が提示する1のパートのリズムを聴き取り、四分音符を「タン」、八分音符を「タド」、十六分音符を「タカタカ」などの言葉に当てはめ、声を出さないで表現する。</p> <p>○ ♩=80 ぐらいの速さで指導者が言葉で表現するリズムに合わせて、1のパートのリズムを表現する。</p>
<p>② 2や3のパートのリズムを表現する。</p>	<p>○ 指導者が提示する2や3のパートのリズムを聴き取り、音符を言葉に当てはめ、声を出さないで表現する。</p> <p>○ ♩=80 ぐらいの速さで指導者が言葉で表現するリズムに合わせて、2や3のパートのリズムを表現する。</p>
<p>③ 少人数のグループで三つのパートを分担し、アンサンブルで表現する。</p>	<p>○ グループ内でパートを分担し、リズムの重なり方や叩いた響きを感じ取りながら表現する。</p> <p>○ 速度や強弱の設定を確認し、表現を工夫する。</p> <p>○ グループごとに工夫したことを説明して表現を発表し合い、気がついたことをワークシートにまとめる。</p>

### 4. 通常授業再開後のフォロー

器楽分野の学習に含めて取り扱います。生徒や学校の実態に応じて、他の楽器を用いる学習を取り扱います。